

「公民対話の機会」対話テーマ

スポーツ医科学拠点における連携について

所属	スポーツ市民局スポーツ推進部スポーツ振興課
概要	・本市ではアジア・アジアパラ競技大会のレガシー形成に向けて、大会を契機とした市民のスポーツへの関心の高まりを一過性のものとせず、スポーツ実施率の向上や生涯にわたるスポーツ寿命・健康寿命の延伸につなげるため、令和7年度にスポーツ医科学拠点整備に向けた基本構想を策定した。 ・医学検査、体力測定を踏まえて運動、トレーニング、栄養等に関する助言、指導を行うスポーツ版人間ドック(仮称)、スポーツ外傷・障害のためのスポーツ診療、運動・トレーニング、栄養、心理などに関するサポート事業を検討しているが、市民の健康増進、競技力の向上、人材の育成、サポート内容や提供サービスの質の確保や効果的・効率的な運営のための民間連携について検討したい。
意見交換したい観点や聞いてみたい点	○スポーツ医科学拠点整備に向けて、本件施設の運営にあたり民間企業や大学等の当該事業への連携可能性について聞きたい。 ○現時点で運営事業者を選定するものではなく、整備前の実証実験や将来的な連携可能性を把握するための意見交換を目的とします。 【項目】 体力測定、メディカルチェック、データ分析、トレーニング、栄養サポート、心理サポート、トレーニングメニュー作成など ・トレーナー、健康運動指導士、栄養士、心理士などの人材連携 ・働き世代・子育て世代のスポーツ実施率向上のための分析・連携 ・運動・スポーツを通じた企業への健康経営コンサルティング ・検査・測定結果に基づくAI等によるフィードバック ・ウェアラブル端末などと連携したデータ分析 ・市民の健康や体力に関するデータを用いた研究・共同開発 ○連携する場合、どのような連携のかたちが考えられるか ○連携にあたって想定される課題や懸念事項は何か
特に意見交換を希望する業種等	トレーニングジム、ヘルスケア事業、医療・検査・測定機器メーカー、スポーツ用品関係、動作分析、データ分析関係など
これまでに実施した施策・関連事業等	スポーツ医科学拠点整備に向けた基本構想(令和7年度) スポーツ医科学サポート事業(ジュニアアスリート向け)
備考	(参考)スポーツ医科学拠点整備に向けた基本構想

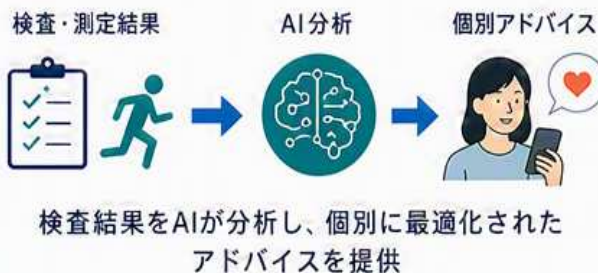
スポーツ医科学拠点における官民連携イメージ

整備前の実証実験・将来的な連携可能性を把握するための意見交換

※現時点で運営事業者を選定するものではありません

整備前の実証実験

例 AIによるフィードバック



例 ウェアラブル連携データ分析



例 スポーツ実施率向上のための取組

	参加データの分析
	プログラムの改善・最適化
	親子体力測定会
	高齢者向け運動プログラムの提供
	企業向け健康経営コンサルティング

スポーツ医科学拠点 (構想段階)



多様な市民・利用者



主な分野



整備後の運営における連携

例 人材連携



例 研究・共同開発



意見交換の
主な論点



どのような連携が可能か



想定される課題・懸念



必要な役割分担・データ管理